

平成20年度第3回北海道農政事務所入札等監視委員会審議概要

開催日及び場所	平成20年11月18日(火) 北海道農政事務所5階会議室	
委員	阿座上 洋吉(経済研究所代表)、奈良 顕子(設計会社代表)、 山林 弘(建設保証会社参事) <五十音順>	
審議対象期間	平成20年7月1日～平成20年9月30日	
抽出案件	4件 (総件数9件 内訳：公共工事等1件、物品・役務等8件)	
【公共工事等】 指名競争	1件	・北海道農政事務所地域第一課玄関スロープ設置工事
【物品・役務等】 一般競争	3件	・プリンター用トナー等の購入(単価契約) ・事務用書庫等の購入 ・北海道農政事務所地域第四課及び旭川統計・情報センターの合同庁舎入居に伴う物品運搬等請負業務
委員からの意見・質問、それに対する回答等	質問・意見	回答
	別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容。	・なし	

質 問 ・ 意 見	回 答
<p>【入札・契約手続の運用状況等に関する報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札・契約手続の状況 ・ 指名停止等の措置状況 <p>【抽出事案の審議】</p> <p>1. 北海道農政事務所地域第一課玄関スロープ設置工事</p> <p>2. プリンター用トナー等の購入(単価契約)</p> <p>○商品の発注はどのような基準で行っているのか。</p> <p>○単価は従来に比較してどう変化しているのか。</p> <p>○商品は特定のメーカーを指定しているのか。</p> <p>○各機種ごとに契約を行なった方が安くなるのでわないのか。</p> <p>3. 事務用書庫等の購入</p> <p>4. 北海道農政事務所地域第四課及び旭川統計・情報センターの合同庁舎入居に伴う物品運搬等請負業務</p> <p>○大幅に低い落札率(29.8%)となっているが、</p>	<p>(質問・意見なし)</p> <p>(質問・意見なし)</p> <p>●単価契約で契約をしているので、必要の都度、発注を行い契約業者から納品されている。</p> <p>●単価契約は昨年度から取り組んでおり、落札単価は、ほぼ同様である。</p> <p>●仕様書にメーカー純正品(新品、リサイクルのいずれも可)としている。</p> <p>●一括購入の促進の観点から数量・品目等をまとめて発注することにより、複数の業者間での競争が発揮されると考える。また、各機種ごとでの分割発注を行いうことにより一部(特定)の業者(専門メーカー)に偏るといったことが懸念される。</p> <p>(質問・意見なし)</p> <p>●予定価格については、過去の入札結果や市場価</p>

このことについては何か推測されるか。

○このような契約は、総体的に人件費の占める割合が大きく、業者のやりかた次第では、金額にそれぞれ幅があり想定しづらい部分があると思われる。

格等を総合的に検討して設定している。また、落札業者は独自に運搬・搬入方法を工夫することにより当方が想定していた人件費よりも大幅に安く見積もりされていた。なお、履行については問題なく終了している。